“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

Office : Tokyo YMCA Toyocho Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ “CENTIPEDE”

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

２０２１年７月 ～ ２０２２年６月

国際会長主題	「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題	「100年を超えて変革しよう」
東日本区理事主題	「私たちは次の世代のために何ができるか？」
東新部部長主題	「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

会　　長	土井　宏二
副 会 長	―
直前会長	今井　武彦

書　　記	今井　武彦
会　　計	髙津　達夫
担当主事	山梨　雄一

２０２２年１月本例会（719回）

（ 強調月間：EF／PWA Legacy／JEF ）

今　月　の　聖　句

娘よ、あなたの信仰が　あなたを救った。安心して行きなさい。もうその病気にかからず、元気で暮らしなさい。　　（マルコによる福音書 5-34）

Daughter your faith has made you well; go in peace, and be healed of your disease.

年賀切手等でCS資金を集めよう！！

・一人　1.250円目標でお願いします。
・2月1日（火）までにお願いいたします。

１月　本例会

日 時　2022年 1月 11日（火） 17：30～19：45

場 所　東京YMCA東陽町センター・ハイブリッド式

食事を召しあがる方は　17：00　集合してください。

１月　本例会プログラム

（東京・東京むかで・東京たんぽぽ 合同例会）

司 式	春日井　明（東京）
開会点鐘	会 長　比奈地康晴（東京）
ワイズソング	一　同
ゲスト・ビジター紹介	各クラブ会長
今月の聖句・感謝	越智京子（たんぽぽ）
Happy Birthday! Happy Anniversary	各クラブ会長
卓　話	小野　祥子氏

「男性とともに歩む女性のエアパワーメント」
～新渡戸稲造に学ぶ女性の自立～

スマイル献金	ドライバー（東京）
強調月間アッピール	
YMCAの歌	一　同
閉会挨拶・点鐘	会 長　土井宏二（むかで）

１月：ＥＦ／ＰＷＡ Legacy／ＪＥＦ

EF＝Endowment Fund：国際協会の財政的な安定とワイズダム発展のための基金

PWA Legacy＝ポール・ウイリアム・アレキサンダー遺産基金：2022年の国際協会100周年を記念し創設された。

JEF＝Japan East Y's Men's Fund：東日本区ワイズ運動の継続的発展を支えるための基金　　（伊丹 記）

HAPPY BIRTHDAY

23日　櫻井　啓子

結婚記念日おめでとう

1日　福島和州太郎・咲野

1日　神保伊和雄・久子

２０２１ 年 １２ 月 の 記 録（＊累計は期初からの24累計）

会員出席状況				メーキャップ記録	スマイル	0 円
正会員	10 名	出席(メネット)	0 名		ＢＦポイント　現金累計	0 円
功労会員	1 名	出席(コメット)	0 名		切手累計	
在籍者数	11 名	出席(ゲスト)	2 名			
出席(正会員)	9 名	出席(ビジター)	0 名	0 名	リングプル 累 計	325.2 kg
出席(功労会員)	1 名	例会出席総数	12 名	12月出席率　90 %	むかで基金　今月分	98,230 円

会費振込先　　みずほ銀行　亀戸支店　（普通）３０１３０７１　東京むかでワイズメンズクラブ

12 月　本 例 会 報 告

12月21日（火）、東京むかでクラブの12月クリスマス本例会は、リアルとZoomのハイブリッドで開催いたしました。

12月本例会プログラム

第一部 礼拝

一部の方はZoomで参加、司会は神保伊和雄ワイズで、クリスマス礼拝がスタートしました。毎年奏楽に丸山もと子さんに参加いただき、素晴らしいオルガン演奏でした。

石丸泰樹牧師からのクリスマスメッセージを40分間、ゆっくりとした時の中でクリスマスに関わるお話を聞くことができました。石丸牧師には継続してクリスマス祝会にご参加いただきました。私たちのことを理解してお話をして頂いているように思いました。親近感を持てるのも良いことだと思いました。クリスマス礼拝は無事に終了。【写真上＝石丸泰樹牧師】

来年の東京むかでの例会には、もっと多くの参加者がいる例会にしたいと思いました。

コロナが早く収束してほしいと誰もが願っていると思います。

第二部 「みんなでクリスマスを祝おう」

司会は引き続き神保ワイズ、土井宏二会長の大きな音の開会点鐘で一瞬驚きました。ゲストは石丸泰樹牧師、丸山もと子奏者を紹介して、髙津達夫ワイズによる今月の聖句と感謝が行われました。

「言葉が多ければ虚しさも増すものだ。人間にとってそれが何になろう」（ユヘレトの言葉6章11節）、この聖書の一説を紹介されたとき、「言葉多ければ虚しさを増す」の言葉に大変心が動き、どの様に理解したらよいのかを考えることができた一節でした。

その後、クリスマス例会特別プログラム『トミソングを楽しもう』が、丸山もと子さんの伴奏で始まりました。ご用意いただいた歌詞を見ながら、少年の時を思い出しながら歌いました。

「美しい湖水よ」を歌うたびに、野尻湖で過ごした全風景が目に浮かんできます。

「山々高く」は、毎朝旗揚げの時に歌った歌です。歌詞に「へだてなく睦み、ともどもに学ぶ」があります。野尻学荘はその通りの時を過ごしたキャンプでした。

「がったごっとバスに乗って」は、中一で初めて行った時、柏原駅からバスに乗って野尻湖畔までの10分～15分の間と、エンジンボートに繋げられたボートが、一列になって野尻湖を横断して、野尻学荘に着くまでの様子や、これから始まる楽しいプログラムを歌ったものですが、ウキウキしながらエンジンボートに引かれていくときの印象は、鮮明に残されています。

【丸山もと子さんの伴奏でトミソングの数々を歌いました】

トミソングは野尻学荘でのキャンプ生活を歌ったキャンプソングです。トミさん（故 富岡正雄さん）がキャンプ中、私たちに歌唱指導してくれたことを思い出します。今でもトミソングを思いだして歌っています。本当に良き少年時代だったと感謝しています。

最後に「今日のわざ」を静かに歌いました。私が参加した短期キャンプでのオープニングファイヤーの最後に「今日のわざ」を歌った時、「父上よ 母上よ つつがなく いませや」の歌詞に感謝しなければと思って歌ったことを思い出します。私はトミソングが大好きです。

協調月間アピールを今井武彦書記にして頂き、次にハッピーバースデーで、伊丹一之ワイズと丸山もと子さんがプレゼントと祝福を受けられました。参加者全員に野澤寛枝ワイズ手づくりの毛糸で作ったサンタクロース【写真下】が渡されました。諸報告で野澤ワイズが「がんと闘っている」様子が紹介されました。本日リアル参加できなかった櫻井浩行ワイズ、野澤ワイズ、福島和州太郎ワイズ、森本晴生ワイズに、色紙にメッセージを書き、後日送りました。

最後に閉会挨拶を今井書記が行い、全てのプログラムを終えて、土井会長の閉会点鐘をもって散会となりました。静かなクリスマス例会でした。　　（城井 記）

出席者（リアル）：土井、伊丹、今井、城井、神保、髙津、長谷川、山梨

（Zoom）：櫻井、福島

ゲスト（リアル）：石丸泰樹、丸山もと子

野澤寛枝さん　近況報告

癌達と同居　丸2年と5ヶ月

皆様には大変ご心配おかけしております。元気しか取り柄のない私が、なかなか復活できません。原発の乳癌は5㎝から2㎝になったものの、そのまま不動。肺転移癌も不動。肝臓に転移した癌達が8月から暴動を起こし、腫瘍マーカーが上昇、10月より抗がん剤の錠剤を朝晩各1錠服用。月1回のホルモン剤注射続行。錠剤は楽かとおもいきや、副作用が激しく、下痢、吐き気、味覚異常、発疹、倦怠感、爪が割れる、と、まあ結局抗がん剤。髪の毛があまり抜けないのがせめてもの救い。

2ヶ月服用し、下痢止めを飲むと吐き気が酷いことに気付き、担当医と相談、下痢止めは中止。吐き気止めは効能なし、只今日夜4～9回の下痢と奮闘中。吐き気よりはまし。味覚がないのと、水や炭酸水が苦いのが涙。

腹痛なしでいきなりトイレに直行なので外出は最低減。昨日も病院に行く前、病院到着、診察終了。そして帰宅してトイレ。トイレで暮らしたいくらいです。少量ずつ分けての食事、癌に栄養をもっていかれないよう、まずくても食べます。癌よりは副作用と闘っている昨今です。

来年もまた癌と戦います。どうやら癌と仲よくはできなさそうです。皆様どうぞ良いお年をお迎えくださいますように。来年は是非復活したいと思っております。

会　　長　　通　　信

コロナ禍で始まりコロナ禍で終わりそうな1年でした。7月から会長を引き受けすぐに退会者が出て、嵐のスタートでしたが、会員皆様の協力のお陰でその後は順調に進むことが出来ましたこと感謝します。

むかでクラブの原点は、野尻学荘支援をプラットホームにしての活動を起点に、新しく始まったアフガンへの支援ランドセルプレゼント。神戸ポート、石巻広域のトライアングル等活動も始まりました。

1月以降の後期を迎えるにあたり、①楽しい本例会、義務の出席ではなく行きたい、出席したい例会にしたい。②建前ではなく、本音で話し合いのできる雰囲気つくり。③赤字体質からの脱却、身の丈に合った運営。④次期会長へのスムーズな引継ぎ。等を考え、残された6か月間頑張りたいと思いますのでご協力宜しくお願いします。

（土井　記）

＜１月の予定 ＞

5日（水）**東京むかで**・ブリテン印刷会（16:00～）
8日（土）　在京ワイズクラブ新年会（東陽町センター）
8日（土）　東京多摩みなみ・1月本例会
10日（月）　東京町田コスモス・1月本例会
11日（土）　東京むかで・東京・東京たんぽぽ
　　3クラブ合同新年例会
13日（木）　東京センテニアル・1月本例会
19日（水）　東京町田スマイリング・1月本例会
21日（金）　東京世田谷・1月本例会
25日（火）　**東京むかで**・第二例会　16:00～（Zoom）

＜２月以降の予定 ＞

1日（火）　**東京むかで**・ブリテン印刷会（16:00～）
15日（火）　**東京むかで**・2月本例会
22日（火）　**東京むかで**・第二例会（18:00～Zoom）

卓話者プロフィール

小野　祥子（おの　しょうこ）氏
1970年　東京女子大学文理学部英米文学科卒
1982年　東京女子大学文理学部専任講師
1995年　東京女子大学文理学部教授、専門は英語史
1993年および2008年　ロンドン大学visiting scholar
2014年4月～2018年3月　東京女子大学学長
現在：東京女子大学理事・評議員、山梨英和学院理事・評議員、聖公会神学院評議員。目白聖公会所属

（城井　記）

シニア　Y・Y・Y　キャンプ

2022年5月20日（金）～23日（月）、東京YMCA山中湖センターにて開催。

2年間中断した『シニア　Y・Y・Y キャンプ』を開催することにいたしました。

コロナがどうなるか不安ですが、5月に是非開催したいと考えています。

「いつでも、どこでも楽しいキャンプ」を目指しています。無理をしないキャンプ、そして天才を発見する『シニア　Y・Y・Y キャンプ』を考えています。青少年キャンプとはまったく考え方が違うキャンプです。家に帰っても続けられるプログラムでありたいと思っています。

キャンプの時だけが楽しいのではなく、人生100年時代にあっては、毎日をいかに楽しく生活するかは大切なテーマです。キャンプを通して体験したプログラムを家でも楽しむことができたら、人生何倍も楽しくなると思います。『シニア　Y・Y・Y キャンプ』に参加する皆さまと共に、とっても楽しい時をつくりたいと思います。もうすぐ参加者募集を始めます。参加をお願い申し上げます。日本で初めての人生を楽しむキャンプです。　（城井　記）

１２月 第 二 例 会 報 告

① 恒例通り、ブリテン担当者は城井が編集・クリスマス例会報告・シニア Y・Y・Y キャンプ報告・第二例会（役員会）・編集後記、野澤ワイズは闘病記、会長通信は土井会長、YMCAニュースにオープンハウス報告を入れ込んで山梨主事、1月EFについては伊丹ワイズとなりました。

② 在京ワイズクラブ新年会の準備について確認。パワーポイント原稿でプログラム確認、そして、12月25日までにクラブアピール原稿を待つことになりました。

次の最終確認は1月5日16時より行います。当日8日は10時よりリハーサルを行います。

③「思いでのランドセルギフト」への運営資金10万円寄付について意見交換。タリバンの動きが不安であることで、ランドセルギフト・プロジェクトには反対の意見もあり、時間をかけて議論を尽くしました。

結果として多くのメンバーから寄付金が集まり、不足分（一部）をクラブ会計から補填することで決着しました。トライアングルの共同事業になり、各クラブ10万円の寄付の要請があったことも大きな決定理由になったものと考えます。人それぞれの意見があり、東京むかでクラブらしい活発な検討が出来たと思います。　　（城井 記）

出席者：土井、伊丹、今井、城井、神保、髙津、長谷川

東京ＹＭＣＡニュース

12月12日、東陽町センターと社会体育・保育専門学校を会場に、二年ぶりとなる「クリスマス・ミニオープンハウス」を開催しました。

東陽町センターでは、コロナ対応として例年に比べ規模を縮小し、恒例のバザーをはじめ、子どもコーナー、模擬店（持ち帰りのみ）、おもちゃ病院、ラケットボール大会、各種展示など、会員、ワイズメンズクラブ、町会、スタッフ、学生など、多くの方のサポートにより実施をしました。当日は約1,500人が来場し、賑やかな一日となりました。

【クリスマス・ミニオープンハウスでサンタと子供たち】

また社会体育・保育専門学校も会場として使用し、保育科生によるメダカすくい、クラフトコーナー、クリスマス劇の発表会、体育科生による遊び場広場、わたあめなどを実施した。地域の子ども達に少しでも楽しんでもらえるようにと、出し物は工夫を凝らし、また指導者を目指す学生らしく、安全に過ごしてもらうためにという配慮の欠けることなく、前日までの準備など遅くまで教員と学生が力を合わせて、取り組むことが出来ました。

数日前から、地域の方からも問い合わせがあったりと、ここ数年、お家時間中心の生活もあり、改めて人と接する喜びや必要性を考えさせられる一日ともなったように思います。YMCAは地域に開かれ、地域とともに歩む団体です。

益金約50万円は、子ども食堂などの地域プログラム、国際協力募金、青少年リーダー養成、災害復興支援に用いられます。　　（山梨 記）

12月 会 計 報 告・リングプル報告

1 月間収入・支出合計　　期間 12/1～12/28

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	6,000円	5,250円
活動基金部	98,230円	33,000円

経常収入：部入会補助金

経常支出：通信切手、送料、封筒

活動基金収入：寄付（DBC 原資支援・7名）、献金

活動基金支出：牧師・奏楽者謝礼（2名）、例会菓子代、ポジティブネット支援　　（髙津 記）

2 リングプル 12月預かり分

今月はゼロです。　　（神保 記）

編 集 後 記

高齢化する東京むかでクラブは、世間と同調するように高齢化が顕著です。体が動かない、だから活動に参加できないと言った話が良く出てくるようになりました。

しかし、クラブの目的やプログラムの内容を考えて、シニアでも楽しめる活動をすべきだと思うようになりました。クラブ活動は決められた式次第をこなす活動に終始するのではなく、東京むかで独自の発想があっても良いのではないかと思います。クラブ活動に参加したいと思えるようなプログラムになったらと思います。各クラブのプログラムは、『シニア Y・Y・Y キャンプ』のように、笑って楽しむ活動であって欲しいと思います。今までは、友人、知人を呼べるプログラムではありません。高齢でも楽しめるプログラムが大切ではないでしょうか。

最近、意見の対立をよく見るようになりましたが、クラブ活動は皆で考え、皆で活動することが大切だと思います。皆で考えるクラブ活動になったら良いと思います。

（城井 記）